

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 由健企画

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化するとともに経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・経営理念について入社時に説明を行っている。								8	9									17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則に、関係法令及び諸規則を遵守しなければならないことを示し、いつでも閲覧できるようにしている。																		16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・適正で公正かつ透明な事業活動を行う旨を就業規則に明記し、履行徹底を図っている。また、取引事業者に対して、不正な値引き圧力などが無いか、チェックをしている。																10			16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・SDGs担当者が、地域に与える問題について対応しており、社員に対し定期的に研修を実施し、解体作業におけるアスベスト、粉塵の問題など地域に与える問題について考える機会を与えている。																			16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する事を、月2回実施する定例会で従業員に教育し、侵害防止に対する取り組みを行っている。								8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・毎月2回行う定例会で情報漏洩防止について徹底するとともに、個人情報の第三者への開示、漏洩、持ち出しを禁止している。																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・発注先に対してのアンケートの実施をし、取引先の声を大事にし双方向コミュニケーションに努めている。																		16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震、水害、感染症に対しての事業継続計画(BCP)を策定し、年1回の災害訓練を実施している。 ・災害時の為の飲料水・食料品を備蓄している。										9				11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							1	2				5		8					12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・採用、教育、昇進、登用、福利厚生等あらゆる雇用条件で、差別しない体制を就業規則に定めている。また、ハラスメントを起こさないための教育、研修も都度行っている。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働災害の撲滅、健康障害の防止及び環境保全に努めることを目的として安全パトロールを実施し、労働災害防止活動、環境保全を行っている。					3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・業務ごとに賃金水準が決まっており、雇用形態による待遇差別はない。また、福利厚生等は全社員共通している。 ・性別、個人の経験等を考慮し、資格に応じた役割、能力が発揮可能な制度としている。						5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・勤務間インターバル制度を徹底し、就業規則に明記するとともに業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、半日・時間単位で使用できる有給休暇制度の設置や有給休暇の取得奨励を行っている。					3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職業能力の開発・向上を目的とする教育訓練の受講を希望する場合において、教育訓練休暇を付与している。						4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・現場ごとに熱中症対策キットの設置を行っている。 ・インフルエンザのワクチン接種については費用の負担を会社が行うとともに、新型コロナウイルスワクチン接種については勤務時間中の接種を認めている。									3			8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性、外国人、障がい者、高齢者に限らず、更には元受刑者を受け入れるなど多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。						4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・これまで対面で行っていた他社との打ち合わせや社内会議は、ZOOMによるウェブ会議を行うなど、工夫をしている。						3				8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●													8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●													3	4				8	9				12

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 由健企画

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・業務中の廃棄物は決められた場所に分別して保管し、処理契約を結んだ業者に処理を委託している。また、産業廃棄物の管理を行い、建設資材の省資源化に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、会議等で共有している。 【予定】2022年7月に竣工予定の新社屋では、事務所のライトにLEDを使用することで消費エネルギー削減に努める。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・現場に行く際には従業員が1台の車に乗り合わせるようにするなど、ガソリン車の使用を効率よく行い、CO2排出を抑えるよう工夫を行っている。 ・アイドリングストップを徹底して行い、従業員に周知している。 【予定】2022年8月までに簡易計算シート等を用いてCO2使用量を把握するようにする。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・解体作業時には噴霧器を使用し、粉塵の広がりを抑制するほか、囲い込み等を行うことでアスベスト対策を徹底している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・作業で排出された木材は、木材チップにリサイクルすることで、3Rに取り組んでいる。 ・事務作業においてはペーパーレス化や裏紙の利用を推進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・散水の際には、利用可能な限り水道水を使用せず、用水路などからのくみ上げなどを行い、節水に努めている。また、会社内の水道には節水のステッカーを貼るなどし、社員の節水の意識を高めている。		2.4				6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務作業で使用する紙については再生用紙を利用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・定期的に社員を連れて天草(大矢野)の海岸のごみ清掃を行っている。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 由健企画

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・解体現場において考えられるリスクを洗い出し、関係業者に対し注意喚起を行っている。また、現場に熟知したベテラン社員と安全パトロールを現場ごとに定期的に行っている。			3.9							9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工事現場は、通行者に対し分かり易い工事内容表示版の掲示、歩行者用仮通路への誘導等、高齢者、児童等の立場に立った現場環境整備を行い、安全第一で取り組んでいる。										9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15					17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●		・【予定】2022年7月に新事務所を新設するにあたって、床に木材を使用する設計にするなど、木質化に努めている。								7					12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4								8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域のライオンズクラブに所属し、定期的な清掃活動や、チャリティ募金活動を行うなど、地域とのつながりを大切にし、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行い、食料や被災した時に必要なものを備蓄し、また、毎年買い足しを行っている。 ・従業員全員でルートを決め避難所までの所要時間などを実際に歩いて確認している。				4								11.5		13.1					16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1					16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9			11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・月に1回行う全体会議において、社長自ら主体となり、SDGsについての取り組み方法について、独自のマニュアルを作成し、研修を行っている。また、当社は解体業であることから、17の目標のうち、項目9・項目11を特に重要だと考え、従業員に対して指導を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6			10.2										17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		・地元の高校と更生施設と連携し、求人票を学校や施設内に掲示してもらい、就職勧誘している。また、職場説明会の機会を利用し、職場見学を行っている。				4.4				8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15					17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。